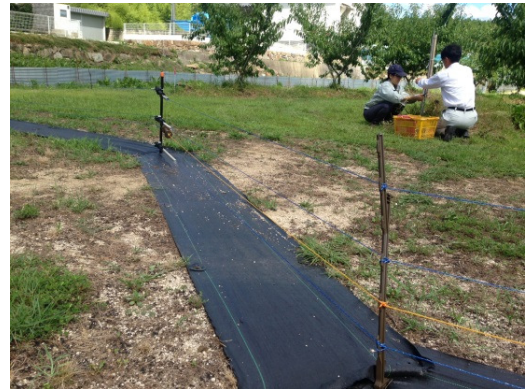


## もも，ぶどう園で獣害を抑える

【平成 30 年 9 月 21 日掲載】

世羅町津口のラピアゲータンさんと妻の幸恵（ゆきえ）さんは，ぶどう 50a ともも 20a を栽培しています。

昨年，数種類の中型動物によると思われる食害で，もも園ではほとんど収穫がなく，また，ぶどう園では約 200kg の房が食害を受けました。もも園では昨年アナグマが箱ワナにかかり特定できていましたが，ブドウ園で加害している獣を特定するためにセンサーカメラを設置し，イタチとタヌキであることを確認しました。



【もも園の電気柵】

両園地はトタンとワイヤーメッシュで囲まれていましたが，中型動物はこれらをくぐり抜けるため，当所の提案で，もも園には主にアナグマ対策として電気柵を地上から 10cm, 20cm, 30cm, 50cm の高さで設置しました。これにより今年のもも園での被害は全くありませんでした。

ぶどう園では，トタンの上 8cm に電線を張ることと，袋状にしたネットで房を覆う対策を提案しており，定期的に効果の確認を行う予定です。ラピアゲータン氏は「手間がかかるので全ての品種では試せないが贈答用品種などに重点をおいてこの方法を試し，効果を見たい。」と対策に意欲を示しています。



【ぶどう園の電気柵】



【ラピアゲータン氏と房をネットで覆った様子】

情報提供元

東部農業技術指導所